2016,11,13　　歴史探訪・紅葉の鎌倉山　八丁平トレッキング記

良いお天気、空気は澄み切り、そよ風は快く、とても気持ち良いトレッキングでした。ナメコもたっぷり収穫でき、大阪市からのＳさん、「楽しい・・・」とニコニコ顔、京都からのＭさんも「もう十分です・・」などみなさん大満足。紅葉もすばらしく「綺麗ね」の連発。八丁平では、めずらしい“ツチアケビ”に出会いました。「初めて見る」と、お写真をパチリ。大満足の一日でした。帰りに道の駅藤樹の里あどがわに寄り、お土産購入など楽しみました。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。

☞**歴史探訪①　オグロ坂峠**：織田信長が朝倉攻めに失敗し京都に引き上げる時、しんがりをつとめた徳川家康が通った所で、オグロ坂峠から鞍馬に出て京都に帰った。**オグロ坂から鯖街道**に合流。

☞**歴史探訪②　鯖街道**：「若狭湾でとれた鯖を一塩して夜も寝ないで京都まで運ぶと、ちょうど良い味になっていた。」とよく言われます。この道は鯖だけでなく多種の海産物が運ばれています。いわゆる、北前船から陸揚げされた物資も盛んに輸送されました。鯖街道の実質的な起源は極めて古く、はるか千二百数十年の奈良の都、平城宮の跡から発掘された木簡に、若狭から送られた鯛の酢を始め、すでに１０種に近い魚介（貝）の名が見えています。まら、塩を送った多数の荷札が見だされており、鯖街道は、まさに塩の道でもありました。ところで、日本海と都を結ぶ鯖街道は、また政治の道、軍事の道、特に文化の道でした。さて、鯖街道は、決して単に、小浜と京都を結ぶ一本の道のみを意味しません。若狭湾岸の幾つかの地点から多数の道が京都へ、遠くは奈良へ飛鳥へ、さらに丹波の篠山などへと通じていました。日本海の幸を送る通称鯖海道は大陸などの文化を届け、また、都から幾多の文化を、この地方（小浜）に召集しました。

☞**歴史探訪③　　環境保全　　京都の自然 200 選 八丁平**　　（所在地　京都市左京区久多）　八丁平は西日本では数少ない高層湿原で、周囲の森林（落葉広葉樹林）と調和し、優れた景観を形成しています。この湿原は泥炭層や火山灰層の年代から 2 万年以上の歴史を持つといわれています。各時代の植物の変遷を知ることができるとともに、日本のトンボの中で最小の種類であるハッチョウトンボも見られるなど、学術的にも極めて貴重なものです。

◆トレッキングの様子

なめこの収穫

綺麗な紅葉

眺望もバッチリ

千年杉

「きれいね」の連発

「鎌倉山は、良いね。綺麗ね。楽しいね」など談笑しながら

上の方は、残しましょうネ。

ナメコがいっぱい

みなさんで分け分けです

オグロ坂を行く（**鯖街道**）

八丁平

ツチアケビ

江賀谷に下山

大岩と紅葉